

## 会 議 録

### 1 会議名

平成28年度 第3回金谷区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成28年度地域活動支援事業について（公開）

### 3 開催日時

平成28年6月9日（木） 午後6時12分から午後8時16分まで

### 4 開催場所

福祉交流プラザ 2階 第一会議室

### 5 傍聴人の数

1人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：高宮宏一(会長)、川住健作(副会長)、村田敏昭(副会長)、伊崎博幸、石野伸二、伊藤三重子、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、高橋敏光、竹内恵市、土屋博幸、永野起男、西条聖士、山口茂幸、吉村清正
- ・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、槇島係長、小林主事

### 8 発言の内容

#### 【小林主事】

- ・16名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

#### 【高宮会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：伊藤委員、牛木委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【佐藤センター長】**

資料により説明。

**【高宮会長】**

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

一次第3議題（1）平成28年度地域活動支援事業について—

**【高宮会長】**

続いて次第3議題（1）「平成28年度地域活動支援事業について」、正副会長は審査に加わることから、事務局に会の進行を求める。

**【佐藤センター長】**

申請状況について、平成28年度金谷区申請概要一覧【確定版】により説明。

審査の流れについて、提案者による事業説明5分以内、質疑応答15分以内、委員による採点5分以内。それぞれの配分時間の1分前にベルを1回、終了時点で2回鳴らす。採点表は、事務局がその都度回収し集計作業を行う。以上を提案案件ごとに繰り返す。審査の所要時間は1時間15分程度である。

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

整理No.1「写真集『人と自然・中ノ俣の暮らし』制作事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【佐藤センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【石野委員】**

期待する効果に記載の「集落活性化につながる、今後のまちづくり活動の発展が期待できる」とある中の、「今後のまちづくり活動の発展」について、具体的に教えて欲しい。

**【提案者】**

集落を訪れて欲しいというのが大きな目的であり、写真集を介していろいろな人に中ノ俣へ来てもらうことを考えている。

**【石野委員】**

いろいろな人から来てもらうためには、違うアピールをした方がよいのではないか。紙ベースの写真ではなくて、データやインターネットの活用を考えていくべきである。写真集だけでは発展性がないため、発信方法を考えるべきである。

また、山里の暮らしは過去何百年と続いているものだが、近々の10年間の写真でそれが伝わるのか疑問である。

**【提案者】**

佐藤秀明氏は顔が広く、他にも中ノ俣を取り上げている著名な作家等にも配布するため、宣伝効果はあると思っている。

また、撮影技術のある佐藤氏がいたからこそ、写真集を思いつくに至った。昔からの行事や日々の暮らしの中のわら細工などはずっと繋がってきたもので、それが歴史である。過去の写真がなくても十分足りると考えており、それが伝わるように私達も編集の際に意見を言っていきたい。

この方の写真を使うからこそインパクトがある。その先生が今ここに通って来ている。今を逃したらチャンスは無い。

**【石野委員】**

歴史を記録・出版する事業として、同じようなことを平成24年度にしている。

**【提案者】**

写真集とは違う。

**【石野委員】**

出版物を出した後、中ノ俣集落への移住や、集落から出た方が定年後帰って来たことは実際にあったのか。「観光で見に来て下さい」だけではよくない。中ノ俣のギャラリーを宣伝した方が、かえってよいのではないか。

また、無償配布については、図書館などはよいと思うが、関係者とはいえ一住人に、税金を使った1冊約7千円するものを送っても、送りっぱなしになってしまうのではないか。

**【提案者】**

思いを持っている人たちに配布するので、成果は出ると信じている。

また、市の補助金を使っているため、販売するわけにはいかない。100部でも300部でもほとんど額は変わらないため、皆さんに喜んでもらい、それが広がればと思っている。

配布先は検討課題であり、ぜひ有効に使いたい。

**【石野委員】**

欲しいという方には販売してもいいのではないか。

**【提案者】**

集落おこしのために、決定的な方法はない。思いついたことをひとつひとつやってきたなかで、現に中ノ俣集落に住み始め家を建てた人もおり、ここ数年で5～6人増えている。ひとつひとつ積み重ねていくことによって、集落が再生していくのを実感している。

写真集についても、どこでどんな縁が生まれるか分からないが、中ノ俣には佐藤氏をはじめ、作家の夢枕獏氏や落語家の林家彦いち氏などが来て、アピールしてくれている。写真集では不足という指摘があったが、私としてはほんでもない人が写真集を介して来てくれることを期待している。

**【桑山委員】**

主にどういう方に配布するのか。

**【提案者】**

基本的には中ノ俣の親戚・縁者関係で、特に東京や大阪方面が多い。縁がある方に配れば、写真を使って他の方に中ノ俣の説明ができ、そこから広がりができる。

**【桑山委員】**

そうであれば、ページを少なくして部数を多く作る方がよいのでは。

**【提案者】**

印刷会社と話したが、ページ数を減らしても金額はあまり変わらないとのことである。

**【土屋委員】**

次年度以降の活動は何を予定しているか。

**【提案者】**

春・夏・秋の風景を載せたパンフレットを年3回程度作り、来訪者に配っている。  
また、フォトギャラリーを冬季以外は常に開設している。

中ノ俣の写真を題材にして、過疎の現状と山里文化を知ってもらえるような写真集にしたい。

**【佐藤センター長】**

質疑を終了。

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.1「写真集『人と自然・中ノ俣の暮らし』制作事業」の採点を終了。

続いて整理No.2「春日山散策道への標柱設置事業」について、提案者に説明を求めらる。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【佐藤センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【山口委員】**

以前あじさいの整備を行っていたが、あじさいは順調に育っているか。

**【提案者】**

育っている。見頃になると大きな花が咲き、非常によい景観である。管理の甲斐あってそうなったと感じている。

**【吉村委員】**

標柱を建てる道に車は通るのか。

**【提案者】**

通らない。

**【吉村委員】**

標柱の冬場の管理はどうするのか。

【提案者】

冬場は管理できない。

【吉村委員】

建てっぱなしか。雪はけっこう降るが。

【提案者】

雪は降る。

【村田副会長】

標柱の文言はどのような計画か。また、1基あたり15万円もするが、どういうものか。

【提案者】

プラスチック製で、色褪せがなく良いものと聞いている。20～30年ぐらいはもつのではないか。値段が高くても良いものを取り付けたいと思い、選定した。

【村田副会長】

文言は決まっているのか。

【提案者】

散策道には3つのルートがあり、それぞれのポイントや分岐で行き先を案内した内容を記載する。

【村田副会長】

全て文言が違うということか。

【提案者】

そのとおり。

【村田副会長】

提案書の中に文言が記載されていればよかった。

【永野委員】

標識等があると楽しく散策できるため、私は賛成である。

【佐藤センター長】

意見として伺う。

【石野委員】

標柱はプラ木、擬木を使うと思うが、材料費等を考えると非常に高いと思われる。また、プラ木は柔らかく雪の荷重で曲がってしまうため、冬場は撤去できるものが多い。

同じルートの中に標柱が3～4本あるが、次のポイントだけを示すのか、それとも同じ標柱に複数のポイントを示すのか。

**【提案者】**

例えば、中正善寺から権現堂に行く道は分かれ道があり、ここに標柱を設置し権現堂を矢印で案内しようと思っている。

**【石野委員】**

迷わないように案内するのであれば、矢印で足りる。むしろ道路の入口に、現在地を付けた全体地図を設けた方がよいのではないか。

**【提案者】**

本当は全体地図も設置したかったが、金額が高くなるため今回は設置しないことにした。道に迷わないよう、標柱を設置することを優先した。

**【西条委員】**

標識の設置には賛成だが、戦国の城らしいデザインがあれば、予算の範囲内で検討いただきたい。

**【桑山委員】**

県道から散策道への入口には何か表示があるか。

**【提案者】**

入口への標柱設置は考えていない。

**【桑山委員】**

入口が分からないと散策道に入れない。

**【提案者】**

上正善寺から春日山へ上がる道が主な通り道になっている。

**【桑山委員】**

そこに案内標識はあるのか。

**【提案者】**

ある。

**【桑山委員】**

全体地図がないと、この道がどこに抜けるのか分からないため、足が向かない。

**【提案者】**

全体地図はいずれ付けたいと思っている。イベントでの来訪者には、口頭で案内している。

**【桑山委員】**

イベントがない時の案内はどうなのか。

**【提案者】**

分からない人が多いと思う。

**【桑山委員】**

入口が分からなかったら、散策道に行こうと思わない。標柱はどこかを一本減らして、散策道の入口に作った方がよい。

**【提案者】**

ぜひそうしたい。

**【石野委員】**

イベントのチラシを1, 200枚印刷とあるが、どこに配布するのか。また、イベントはどのタイミングでどう周知するのか。市のホームページ等は活用するのか。

**【提案者】**

チラシは、正善寺線沿線の町内会には全世帯配布、昭和町1、2丁目、寺町3丁目には回覧をしているほか、知り合い等への配布をお願いしている。北本町通りもバスの沿線なので、北本町でチラシを全世帯に配布したいと町内会長に話をした。1, 200部は全て配れると思う。

**【石野委員】**

地元住民に全世帯配布するのではなく、広範囲で回覧した方が、来訪者は増えると思う。

**【提案者】**

承知した。



**【齋藤委員】**

標柱は作る必要があると思うが、値段が高い気がする。案内表示板と標柱とを設置するということだが、案内表示板は金額に入っているのか。

**【提案者】**

案内表示板も入っている。

**【齋藤委員】**

取り付けはどうするのか。

**【提案者】**

会員が行う。

**【佐藤センター長】**

質疑を終了。

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.2「春日山散策道への標柱設置事業」の採点を終了。

続いて整理No.3「『南葉高原キャンプ場・第20回なんばまつり』事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【佐藤センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【石野委員】**

利用者の地元と県外の比率はどのくらいか。

**【提案者】**

新潟県内の他は、埼玉、群馬、長野、栃木から多数来ている。上越市内と新潟県内で6割程度を占めており、次いで長野、群馬が多い。

**【川住副会長】**

今まで市から補助があったが、それが第20回という記念すべき回に補助が打ち切られたのはなぜか。

**【提案者】**

市からは今年からなくなった、ということだった。そのため、今回地域活動支援事業にお願いした。

**【桑山委員】**

これは1日だけのイベントか。

**【提案者】**

1日だけである。

**【桑山委員】**

この他の、通常の活動の予算はどうなっているか。

**【提案者】**

年間の予算が市から出ており、その範囲内でやっている。

**【土屋委員】**

マイクロバスはどこから送迎するのか。

**【提案者】**

まつりの当日はキャンプ場のロッジまで車で行けないため、キャンプ場の下にある駐車場からロッジまで客を送迎する。

当日はイベント用テントを張るため会場が狭くなる。下の駐車場から会場までは上り坂で500mくらいあるため、その間のピストン輸送をするために、レンタカーを借りる。2台借りて、道幅が狭いので、交互に行き来する計画である。

**【佐藤センター長】**

質疑を終了。

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.3 「『南葉高原キャンプ場・第20回なんばまつり』事業」の採点を終了。

続いて整理No.4 「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【佐藤センター長】**

提案者の説明について質疑を求める。

**【石野委員】**

ミズバショウの保護は以前から取り組んでいるが、やる前と比べて良くなっているのか。

**【提案者】**

当初は15本か20本で絶滅寸前だったところに、10年ほど前から植え始めた。ミズバショウの群生地は2カ所あるが、増えてきている。また、毘沙門堂の湿地にも移植しており、3年目の今年になり花が咲き始めた。全体で2千本ぐらいになった。

**【竹内委員】**

活動に取り組んでいる姿を見てもらうためにも、ミズバショウの季節にチラシを金谷地区全体に配布するなど、PRをするべきだと思う。

**【提案者】**

マスコミにも取り上げられているが、広報活動は足りていないと思うので、これから取り組んでいきたい。町内には、広報紙を配布している。

**【齋藤委員】**

大規模修理等大きなお金が必要な時には、別の補助制度を使うことはあるのか。

**【提案者】**

一昨年大きな看板を設置したが、その際も地域活動支援事業を活用しており、今後もお願いしていきたい。

**【齋藤委員】**

滝寺まちづくり協議会以外に、滝寺で活動している団体はあるか。

**【提案者】**

ある。里山づくり、賽の神をしている。

**【佐藤センター長】**

質疑を終了。

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.4「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」の採点を終了。

続いて整理No.5「金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

— 事業概要に基づき説明 —

**【佐藤センター長】**

質疑を求めるがなし。

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.5「金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業」の採点を終了。

— 5分休憩 —

**【佐藤センター長】**

— 採点結果を説明 —

- ・基本審査で不適合が過半数となった事業なし
- ・共通審査において、得点が半数の200点未満となった事業なし
- ・共通審査の委員採点で得点が多い順に順位づけ

1番 金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業

2番 「南葉高原キャンプ場・第20回なんばまつり」事業

3番 滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業

4番 春日山散策道への標柱設置事業

5番 写真集「人と自然・中ノ俣の暮らし」製作事業

順位は変更できないことを確認。

採点結果に基づき「採択審査」の進行を高宮会長に求める。

**【高宮会長】**

審査の結果に基づき「採択事業の検討」を始める。

不採択とすべき事業について意見を求めるがなし。

5件全ての事業を採択することを諮り、委員全員の了承を得たことから、5件全てを採択することに決する。

補助金を減額すべき事業はあるか、委員に意見を求める。

**【石野委員】**

「春日山散策道への標柱設置事業」について、耐用年数と金額が釣り合っていない。例えばコンクリートの擬木にするなど、材料を再検討してほしい。

**【高橋委員】**

費用には運搬費も含まれていると思う。

**【石野委員】**

「設置は会員が行う」と書いてあるので、運搬費は含まれていないのでは。

**【榎島係長】**

配布した資料には添付していないが、見積書には、標識柱、デザイン表示板、組立工賃までが記載されており、運搬費や設置代等は含まれていない。

**【石野委員】**

県道入口の看板は金額が大きいなら代わりに1カ所だけでも標柱を設置してみ、標柱は矢印のみにするなど、利用者にとってより分かりやすくなるよう、内容を再検討すべきである。

**【齋藤委員】**

提案5件で予算配分額ちょうどの850万円になっているが、他に事業の提案はなかったか。

**【榎島係長】**

5件のみで850万円。

**【齋藤委員】**

了解した。

**【高宮会長】**

設置方法、標柱の材料などを見直すことについて、他に意見を求める。

**【桑山委員】**

散策道入口に設置するなど、設置場所は再検討すべきである。他にも全体図があるとよい。

**【高橋委員】**

中ノ俣の写真集は、内容の検証のため各委員に配布してもらいたい。以前、地域活動支援事業を活用して料理のレシピ本が作られたが、見ずに終わってしまった。

**【川住副会長】**

金がかかっているものであるため、上越市内のほかは、どこへ配ったのかを記録する必要があるため、附帯意見としてその旨つけるべきである。

**【高宮会長】**

「写真集『人と自然・中ノ俣の暮らし』制作事業」については、配布先を記録に残すことを附帯意見として付け、申請額のとおり採択することでよいか諮り委員全員の了承を得る。

**【石野委員】**

写真集配布の1年後や3年後に、結果報告を受けることはできるか。

**【榎島係長】**

附帯意見について、配布先の記録を残すこと、写真集を協議会委員に配布すること、1年後・3年後に結果を報告することが挙げたが、1点目と3点目については附帯意見として適当だが、2点目については事務局から提案団体に事務的に伝えることで足りると思われる。

**【高宮会長】**

「写真集『人と自然・中ノ俣の暮らし』制作事業」については、附帯意見は1点目と3点目を付けることについて諮り、委員全員の了承を得る。

「春日山散策道への標柱設置事業」の附帯意見や補助金減額について、意見を求める。

**【石野委員】**

申請した額の範囲内で、県道入口に標柱を立てられるならよい。

**【高宮会長】**

申請した額の範囲内で内容を検討することを附帯意見としてつけてよいか諮り、委員全員の了承を得る。

【高宮会長】

上正善寺・中正善寺の散策道の入口には看板は無かったか。

【竹内委員】

上正善寺にはあるが、中正善寺には無いと思う。

【高宮会長】

「春日山散策道への標柱設置事業」については、申請額のとおり採択し、採択した額の範囲内で標柱を県道入口に設置することを附帯意見として付けることでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

#### — 一次第 4 事務連絡 —

【高宮会長】

続いて次第 4 「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・地域活動支援事業の今後のスケジュール：本日の採択結果を受け、速やかに補助金交付決定を行う予定
- ・地域協議会だよりの発行：7月15日号の広報上越と合わせ発行・配布、本日の採択結果と改選後の委員自己紹介等を掲載
- ・次回以降会議日程：7月は7月27日(水)午後6時から、8月は8月24日(水)午後6時から、それぞれ福祉交流プラザにて開催予定

【高宮会長】

質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課  
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。